



学校から見える朝陽が大山の左側へずいぶんと移動しました。ダイヤモンド大山を迎えたのはまだ寒い2月でしたが、いまでは5月の陽気さえ感じられる日があるほど暖くなりました。

令和4年度の縁を活かそう

本日、コロナウイルス感染症への制限が緩和されつつある中、全校が体育館に集合して終業式を行いました。在校生にとっては全校が体育館に集まる行事は初めてのことです。コロナ禍以前の状況が少しずつ戻ってきていることを感じます。

本年度も米工MAKERSにお付き合いいただきありがとうございました。校長のコメントを授業に活かした生徒の話を聞きました。先生方が担当された米工MAKERSが県内メディアで取り上げられもしました。また、校外のみなさまからも読んでますよというお声をいただくなど、この一年間の米工MAKERSへの反応を大変嬉しく思います。

本校関係者のみならず、これまで勤務した学校の卒業生からも米工MAKERSを読んでもらっていることをメールでいただき、とても嬉しく思いました。残念なことに、私の操作ミスでその卒業生からいただいたメールを削除してしまい、誰からのメールだったのか分からないままになっています。返信しなかったのですが、申し訳なく思います。また近況を送っていただければ、今度こそ返信します。

さて、私たちは毎日たくさんの選択をしながら生きています。過去の選択の一つ一つがつながって今があります。つまり、一つ一つの選択は今をつくる縁だと思えます。たくさんある高校の中から米工を選んだことも選択の一つであり、縁です。この縁を生かすも殺すもみなさん次第です。工業の勉強をしたけどどうも自分には合っていなかったなあ、と感じている人も中にはいると思います。しかし、これを縁と考えて、自分が進みたい道で工業での学びを活かす方法はないかと考えてみれば、新たな視点で工業の学びに取り組むことができると思えます。もしも、工業以外の道に進むなら、そこでは工業の知識の少ない方々が多いことでしょうかから、工業の知識を持ったあなたには周囲の人にはないものづくりのセンスや知識があり、それを活かすことであなたにしかできない仕事が創り出せると思えます。

どのような出会いをするかは、人生を決めていく大きな縁です。今年みなさんが出会った縁を大切に、その活かし方を考えてみてください。みなさんにとって良い一年間であったことを願います。

校長 松川 明義

【行事予定】 3月27日(月)：再募集入学者選抜
4月10日(月)：令和5年度1学期始業式、入学式

今週末の大会等：電験三種、ラグビー合同チーム中国大会



米工 HP